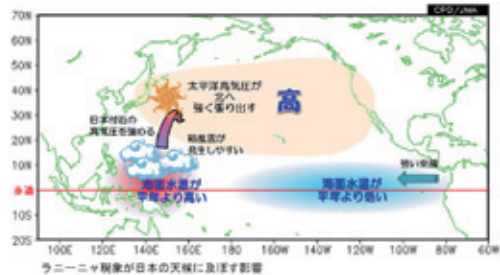
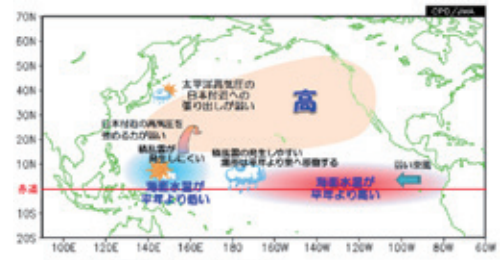


エルニーニョ現象とラニーニャ現象

エルニーニョ現象は、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米ペルー沖にかけての海面水温が平年より高い状態が1年程度続く現象です。逆に、海面水温が平年より低い状態が続く現象をラニーニャ現象といいます。赤道付近で吹く貿易風と呼ばれる東風の強・弱が発生の原因と考えられています。

地球をとりまく大気は、海面水温が高く積乱雲が盛んに湧く海域を源として大きく循環しており、太平洋では、積乱雲の湧きやすい海域の北側に太平洋高気圧が形成されます。東風が弱いエルニーニョ現象時には、海面水温の高い海域は平年よりも東へもどされ、ラニーニャ現象時には、平年よりも西へ寄せ集められます。太平洋高気圧の位置も、海面水温の高い海域に合わせて東や西へ移動するため、夏にエルニーニョ現象が発生すると、太平洋高気圧は日本から遠ざかり冷夏となりやすく、ラニーニャ現象が発生すると太平洋高気圧は日本に強く張り出して猛暑となりやすいのです。

エルニーニョ／ラニーニャ現象は、日本だけでなく、世界各地に異常気象をもたらす現象として注目されています。



問合せ先：稚内地方気象台（月～金曜日）

電話：0162-23-2679

地域おこし協力隊通信

vol.16

町の皆さま、連日の雪にもめげずに、お元気でいらっしゃいますか？地域おこし協力隊員の青柳です。

引退が近いと噂される、DE15形ラッセル車の撮影会が1月8日（日）に行われました。

前日1月7日（土）に幌延町生涯学習センターでの事前説明会の後、町内飲食店に移動して懇親会が行われました。当日朝は幌延駅に集合いただき、町バスに乗り。撮り鉄カメラマン・伊丹 恒 氏を講師に招き、ガイドとアドバイスを受けながら、町内、中川近郊、音威子府近郊、智恵文付近での撮影と、希望者による旧深名線天塩弥生駅跡に食堂&民宿として復現された駅舎の見学も行われました。



糠南駅を通過するDE15形ラッセル車（涌島様ご提供）

申込み開始後、すぐに定員に達する人気イベントのため、第二弾を2月12日に行いましたが、こちらも満員となり、キャンセル待ちが続出し、残念ながら参加できなかった方が多数いらっしゃいました。

参加いただいた方のほとんどは道外在住の方で、今回のイベント参加を通して幌延の魅力を感じていただき、移住を考える方もいらっしゃり、鉄道ファンで不器用な自分もビックリするほどの人気に、今後のイベントの方向性やヒントをいただいたように感じております。

安全面などの課題も残る催しではありますが、事前のコース下見を充分に行い、万全の体制で臨み、次回に活かせるように続けていきたいと思っております。

宿泊や懇親会、お弁当等でご協力いただいた町内の事業者の皆さま、ありがとうございます。

今後も交流人口の増加や、町の方々も参加いただけるようなイベントを開催していきたいと思っております。